

「夏の嵐～チェロ1本から溢れだす音楽～」

① 〈嵐〉 (ジョヴァンニ・ソツリマ)

② 〈ジャズ組曲〉より〈前奏曲〉 (ルチアーノ・アマンティ)

③ 〈無伴奏チェロ組曲第3番〉全曲 (J. S. バッハ)

④ 〈無伴奏チェロ組曲〉より〈フィナーレ〉 (ガスパール・カサド)

とき:2018年8月17日(金)

じかん:午後4時00分～午後5時00分

ばしょ;県立がんセンター新潟病院1階 中央待合ホール

無料、事前申し込み不要

どなたさまでも参加して頂けます！

奏者 **横坂源 - GEN YOKOSAKA -**

2002年7月、チェリストの登竜門として知られる全日本ビバホール・チェロコンクールでの最年少優勝(15歳)を初め、コンクールでの受賞歴多数。2010年9月には最難関で知られる第59回ミュンヘン国際音楽コンクール・チェロ部門で第2位を受賞し、国際的なチェリストとしてのキャリアを本格化させる。

1999年10月、13歳で東京交響楽団とサン＝サーンスのチェロ協奏曲を共演したのを皮切りに、NHK交響楽団、バイエルン放送交響楽団、ミュンヘン室内管弦楽団などを含む主要なオーケストラと、また小澤征爾、岩城宏之、秋山和慶らと共演。テレビやラジオにも頻繁に出演するなど、最も幅広い演奏活動を展開するチェリストの一人である。

豊かな音楽性やイマジネーションが卓抜したテクニックで表現され、「力強く、豊かで、円熟した音色、そして高い集中力と、何よりも情熱的で生き生きとした演奏」(ドイツ、ハレール・タグブロット紙)、「卓越した技巧に加え、鋭い感性、豊かな音楽性、質の高い表現力など、天才肌とも言える驚異的な才能の持ち主」(『音楽の友』誌)など、

各誌で絶賛されている。ミュンヘン国際音楽コンクール審査委員長のパメラ・ローゼンベルクは、新聞のインタビューに答え、その演奏は「深さを示している。それに個性的なことと広がり」と特徴づけ、「まぎれもない詩人」と呼んだ。



主催：新潟県立がんセンター新潟病院 サポートケア委員会